

## Watching the *Waza* for ‘*Kashima-Shintosh-Ryu Kenjutsu*’

「鹿島新當流剣術のわざをみる」

日時 Date & Time : 平成 25 年 9 月 12 日 (木) 12<sup>th</sup> September 2013 14:00–15:40

場所 Venue : 筑波大学武道館 Budokan at Tsukuba Campus of the University of Tsukuba

Lecturer : Tsunetaka YOSHIKAWA (The 65<sup>th</sup> Master of *Kashima-Shintosh-Ryu Kenjutsu*)

講師 : 鹿島新當流剣術第 65 代宗家 吉川常隆氏

司会 : 太田順康氏 (大阪教育大学) 本多壮太郎氏 (福岡教育大学)

Chairperson : Yoriyasu OHTA (Osaka Kyoiku University)

Sotaro HONDA (Fukuoka University of Education)

次第 Program:

1. 全体演武	Total Performance	14:00–14:15 (15min)
2. 講義	Lecture	14:20–14:40 (20min)
3. 演武	Partial Performance	14:40–15:10 (30min)
4. ワークショップ	Workshop	15:10–15:40 (30min)



〈開催趣旨〉 剣道は日本に発祥し、世界 100 ヶ国以上に普及しているといわれる。今大会がおこなわれる茨城県内には、剣術流派の源流の一つといわれる鹿島新當流剣術が 500 年以上にわたり連綿と継承されている。そこで鹿島新當流剣術第 65 代宗家・吉川常隆氏をお招きし、伝来の技をご披露いただき、その後、鹿島新當流剣術に関するワークショップを開催する。

〈鹿島新當流剣術の由来〉 今から 1570 余年前、鹿島神宮大行事大鹿島命の後裔・国摩眞人が鹿島神宮境内の高天原に神壇を築き、祈願熱祷を捧げて神託を受け、武甕槌神の神剣「師霊剣」の法則である神妙剣の位を授かり、以後「鹿島の太刀」と称して大行事座主職ト部吉川家を中心に継承されていた。のち、「鹿島の太刀」は上古流・中古流と発展的に呼称され、また「京八流」に対し、俗に「関東七流」あるいは「鹿島七流」といわれるほど東国武術の代表的存在であった。1489 年ト部覚賢の次男に生まれ、その後、塚原城主土佐守安幹の養子となった塚原ト傳高幹は実父から「鹿島中古流」を、養父からは「香取神道流」を学び、また武者修行による修練を重ね、かつ鹿島神宮に一千日の参籠祈願をして「心新たにして事に当たれ」との神示を受けるとともに、「鹿島の太刀」の極意を悟り、流派名を「鹿島新當流」と改め、生家ト部吉川家に継承され、今日に及んでいる。(日本古武道協会ホームページより)